



真宗大谷派 (東本願寺) 天満別院

六字城

728号
2025
7/1

大阪市北区東天満1-8-26
06-6351-3535
代表者 輪番・奥林曉

帝釈天の驚き

たいしゃくてん

遠い昔のインドです。あるところにとても豊かな商人がおり、彼にはひとり息子がいました。父の事業は栄え、財産はたくさん溢れていました。そんなある時、父が急死しました。息子は溢れる財産を次々と困っている人に分けました。お父さんの供養のためであろうと周囲の人々は思いました。しかし際限のない布施の大きさにその事業に関わる人々や親類は蔵がカラになるの目に見え始めて不安になりました。これらの人々よりもさらに不安になっていたのが帝釈天でした。帝釈天は古代インドからの神々の王でした。帝釈天といえども永遠の地位ではなく、誰か立派な存在が現れると、帝釈天の地位を脅かすと考えられていました。インドは熱い国、帝釈天の椅子は冷たい大理石でできています。この椅子が異様に温かくなると帝釈天の地位が危うくなるのでした。この豪商の息子の布施の徳が国じゅうに広まると、帝釈天の椅子は温かみを帯び、坐りごちが悪くなりました。

そこで帝釈天はその息子を呼び、その面前に地獄の苦しみを受けている様子を神力で作りました。

元輪番 明石 祐曉氏
訃報について

去る6月9日に天満別院元輪番明石祐曉師(享年90)(滋賀県長浜市高山町観念寺)が逝去されました。明石元輪番は平成18年2月から平成24年2月の6年間当院の輪番として就任し、別院の念仏興隆のためご尽力を賜りました。お悔やみには奥林輪番をはじめ職員、門徒会長、婦人部会長と一緒に自坊までお参りされました。

今月の伝道掲示板

我々は
知っていることの方が
むしろ少なく
知っていることだけに
こだわっている
だけにすぎない

— 古田 和弘 —

編集後記

真宗では、お念仏の教えをよろこぶ人のことを「染香人」とよばれ「光香莊嚴」と讃えられています。阿弥陀さまの智慧のはたらきを香りと光にたとえられ、お念仏をよろこぶ人の人生とは、毎日の行動や良い習慣や感謝の心がその人の内面からの香りを創り出すということです。人間のいのちの成長は、継続した良い感謝と喜びの在る気持ちの良い習慣の繰り返しから生まれるということに気付かせていただきました。(I)

「良いか、途方もない布施で人々を救った者は死後地獄に堕ちるのだ。焼かれ煮られ、ありとあらゆる苦しみが待っている。それでもお前は布施を止めないつもりか」
「えっ！布施をして地獄に堕ちる者がいるのですか？」
息子は驚いて帝釈天に問いました。
「信じられないならば、地獄の民に直接尋ねよ」
針の山で血まみれになっている男が答えました。
「私は生前すべての財産を困る人々に布施しました」
息子は驚いて帝釈天に尋ねました。
「この人は地獄に堕ちましたが、助けられた人々はどうなりましたか？」
「彼らは皆、天に昇って幸せに暮らしておる」
「わばっていた息子の表情が和らぎました」
「それで安心しました。私の目的はどこまでも苦しんでいる人々が少しでも助かり、苦しみが軽くなることです。私自身の境涯が楽になることは全く目的ではありません。これで安心して布施を続けることができます」

帝釈天の驚きはかつてないほど大きく、天地が大きく振動し、巨大な稲妻があちこちに落ちて、人々の耳が聞こえなくなるほどの雷鳴がとどろきました。

帝釈天 インンド古代にはインドラと呼ばれ雷神として崇敬されてきました。

仏教以後は四天王を率いて仏法を守護する神として受け入れられてきました。

寺町という歴史ある地域に
根ざした老舗葬儀社

(株) 天満花重

〒530-0041
大阪市北区天神橋 3-4-6
電話 (06)-6351-3875
FAX (06)-6351-6260

地域のお客様の毎日に、
「おいしい」「ワクワク」「ハッピー」を
お届けするスーパーマーケット

ライフ東天満店

〒530-0004
大阪市北区東天満
1-8-14
TEL 06-6357-1100



Q&A

法話で「世の中と私たちの心に真実はない」と聞きました。本当でしょうか？



答え

仏教では「世の中」は「無常」と教えられます。例えば、整頓された部屋も時間が経てば散らかりますし、淹れたてのコーヒーも時間とともに香りを損ないます。熱烈な恋愛感情もやがては冷めてしまうでしょう。世の中に永久不変のものはない。これが無常ということ。誰もが経験上よく知っている。だけれども、どうしてもそこに永遠性を求めてしまう。美しいものや愛するものは、永遠にそうあって欲しいと願い、これこそ真実だとしがみつこうとやめることができません。

だと教えられます。明るさが無い。暗闇の中で手探りに何かを求め、そこに永遠性を求めます。大自然に感動し、音楽を愛で、人を慈しみに、友情を分かち合っては、この心こそが本物だと喜びます。しかし、その同じ心が、怒り、腹立ち、そねみ、妬みの感情をも生み出します。心そのものも無常であって、いつときもとどまることはありません。

私たちは、こうしたことを頭で理解しても、残念ながら本当にそれを心に落とし込むことができません。相変わらず、目の前のものにしがみつこうとやめることができません。私たちの心そのものが真実となることはないようです。しかし、無明の心を教えられるところに、その暗さを照らす光に思いを馳せるといことが起ります。だからこそ、「世の中と私たちの心に真実はない」と教えられては、その都度そこに響く南無阿彌陀仏に手が合わさるのです。

(第7組 了願寺 安間 観志)

ご報告

5月 定例法話

去る5月24日(土) 本堂に於いて定例法話が開催されました。教應寺の建部智宏師をお迎えし、講題「思わず出てくるものの尊さ」のもとお話しいただきました。



7組 教應寺 建部 智宏 師

師は「命の共通条件には①代わり生きてもらうことができな命②繰り返しのない命③必ず終わりがくる命④いつ終えるかわからない命の4つがある」と仰られ、「命終える時、私たちは人生あっという間だったと思う。だからこ

そ「今」を確かめたいという思いが私たちの心の奥底にはある。誰しもが、あつという間の人生の中で、生まれてきてよかったと思える自分に会いたくて、生きているのではないだろうか。私たちの生活の中で思わず出てくるものといえば、涙やため息。念仏しなさいよと言われて称える念仏ではなく、涙やため息と同じように思わず出てくる念仏が大切である。それらが思わず出てくる時に「いたいあなたはどういう命を生きているのか」と呼びかけられているのではないか。」とお話しくださいました。



院議会 開催

去る6月17日(火)、院議会が開催され、左記の通り議案の審議が行われました。

記

- 2024年度
 - ・ 經常部及事業部歳入歳出決算書
 - ・ 本坊運営資金収支計算書
 - ・ 災害見舞特別会計収支計算書
 - ・ 墓地運営資金収支計算書
 - ・ 退職給与積立金収支計算書
 - ・ 整備事業積立金収支計算書
 - ・ 有価証券勘定書収支計算書
 - ・ 期末現金・預金・有価証券勘定書
 - 2025年度
 - ・ 事業部歳入歳出補正予算書(案)
 - ・ その他 整備事業計画について
- 以上
全議案、全会一致で可決承認されました。



門徒会総会開催

去る6月22日(日) 門徒会定期総会が開催され、左記の通り議案の審議が行われました。

記

- 2024年度事業・会計報告
 - ・ 会計監査報告
 - ・ 役員改選
 - ・ 2025年度事業計画(案)
 - ・ その他
- 以上
全議案、全会一致で承認されました。

7月 定例法話

天満別院では多彩な講師陣が解りやすく真宗のみ教えをお話ししてください。7月は左記の通り定例法話を開催致します。

記

- 日時 7月12日(土) 13時30分
- 場所 天満別院 本堂
- 御講師 大阪教務所駐在・教導 上場 直裕師
- 講題 「東西分派と天満別院」

仏前結婚式

去る6月7日(土)、天満別院において阪下大介様、鷓鴣花梨様の仏前結婚式を執り行いました。ご結婚おめでとうございます。



別院では仏前結婚式を随時受付けております。

あなたのお子様、もしくはお孫様やご友人の方結婚式を考えておられる方には是非おすすめてください。ご相談、下見等のお問い合わせは寺務所までご連絡ください。

ご案内

暁天講座 案内

天満別院では、左記の通り暁天講座を開講致します。

記

- 日時 7月27日(日) 8月2日(土)
- 両日ともに6時～ おつとめ 6時30分
- 講師 浄土真宗本願寺派如来寺 釈徹宗師
- 講題 7月27日 「柔らかな心と堅い心」 8月2日 「ことばと仏教」
- 場所 天満別院同朋会館 講堂
- ※聴講は無料です。尚、講座終了後には軽食を用意しております。
- (ご提供 太田石材店様)